

様式第3号

令和7年度第2回一関市立厳美小中学校運営支援協議会 会議録

- 1 会議名 令和7年度第2回一関市立厳美小中学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和7年12月2日（火）午後2時35分から午後3時45分まで
- 3 開催場所 一関市立厳美小学校 図書室
- 4 出席者
委員 佐藤武生委員（委員長）、佐藤奈保子委員（副委員長）
佐々木貴浩委員（副委員長）
徳永規幸委員、遠藤寛文委員、小原昭彦委員、阿部美代子委員
五十嵐正一委員、鈴木有希委員（小学校長）、青沼徹委員（中学校長）、
赤塚知秋委員（事務局）、鈴木智行委員（副事務局）

※欠席者 千條幸男委員、小岩恭一委員、槻山真希子委員

5 議題

- (1) 前期学校経営について
- (2) 学校生活状況について
- (3) クマ対応、地域行事への参加について

6 公開、非公開の別 議題(1) (3)公開、議題(2)非公開

7 非公開の理由 児童及び生徒に関わる個人情報が含まれているため。

7 傍聴人 0人

8 議事内容

(1) 前期学校経営について

○厳美小 1学期学びフェスト反省について

○厳美中 全国学調質問紙の結果について

委員 小学校の学習発表会は厳美スタディを基に学習の成果が出ていた。中学校は文化祭での合唱や造形展での作品が素晴らしい。

委員 小学校の学習発表会は、それぞれの学年が学習したことを発表していてよかった。

委員 中学校の「朝食を毎日食べる生徒約93%」。取らない生徒の状況はどうか。

中校長 生活習慣により食べない生徒もいる。量や質は家庭に任せている。

・小学校、中学校の学校経営について理解いただけた。

(2) 学校生活状況について

○厳美小 沢山の行事を家庭・地域の方に支えられながら行ってきた。新しい試みとして、市民センター主催の事業に3年生の学習を絡めて参加。地域のことを学べてよかった。児童数の減少によりこれまでと同じような活動が難しくなってくることが予想される。

○厳美中 R6の学校運営支援協議会で人数が少なく苦慮していると話題にした環境整備作業を、今回地域の方々に協力いただきとても良かった。部活動は、生徒が少ないため他校と合同チームで活動しているが、これまでできなかった団体戦出場ができ生徒の励みになっている。夏場は、熱中症対策を取りながら活動してきた。

委 員 小学校3年生の活動と一緒に参加した。地域について新たに知ることがあり学びになった。地域を知ることが大切。

委 員 学習内容が多いので、思い切って整理・統合してはどうか。

委 員 学校だけで新しいことをするのは難しい。地域を見直す取り組みとして、市民センターと学校のコラボはよかったと思う。これからはコラボさせながら地域を見直す取り組みを模索していく必要がある。

・小学校、中学校の学校生活状況について理解いただけた。

(3) クマ対応、地域行事への参加について

○厳美小 熊の出没状況に合わせてマニュアルを整理

○厳美中 熊被害防止のための下校時刻の変更と部活動停止

委 員 小学校のリーフレットは場面に応じているのでわかりやすい。県のマニュアルを参考にしたものか。

小校長 小学校のオリジナル。長期にわたって個体の特定ができないときの対応について思案中。引渡も保護者の都合もあるため時間制限が難しい。スクールバスも路線の制限があり、送迎の対応も難しい。

委 員 市民センターでも対応できないかと考えた。学校からセンターまで来るのが危険なので見守りが必要と思う。センターでは、執務室で学習などしながら座っていてくれれば対応可能。2階は目が行き届かないため難しい。

・小学校、中学校ともにしばらくは現状の対応を続けていくことを報告。